

平成 21 年 12 月 10 日作成
記録者：協議会 事務局 岩田幸二

The Real Japan いしかわプロジェクト推進協議会
第 2 回協議会 議事録

- 1、日 時 平成 21 年 12 月 3 日 15:00～16:30
- 2、場 所 ANA クラウンプラザホテル金沢 19 階 アストラル
- 3、出席者 会社名（敬称略）
- 内閣官房 地域活性化統合事務局 参事官補佐 大谷 聡
- 内閣官房 地域活性化統合事務局 吉田秀樹
- 国土交通省 北陸信越運輸局企画観光部 国際観光課課長 佐々木紀彦
- 国土交通省 北陸信越運輸局企画観光部 国際観光課専門官 平山一良
- (株)アイサンクス 外商部営業課長 福田一正
- (株)アイサンクス 海外セールス&コミュニケーションズマネージャー 沖康徳
- あらや滔々庵 女将 永井朝子
- 石川県 商工労働部産業政策課課長 荒木太郎
- 石川県 商工労働部産業政策課専門員 木村忠明
- (株)加賀屋 取締役副社長 小田與之彦
- (株)加賀屋 メディアグローバル販売推進課 インバウンド担当課長 天野博康
- (株)金城樓 専務取締役 土屋兵衛
- (株)銭屋 代表取締役社長 高木慎一郎
- 和倉温泉 多田屋 副支配人 福原義明
- ホテル日航金沢 取締役総支配人 菊池武信
- メディアラグ株式会社 代表取締役 藤井雅俊
- 協議会監査役 鳥本俊和
- 協議会事務局 事務局長 岩田幸二
- 協議会事務局 企画・広報統括 鈴木慎太郎

議事録添付資料

- 別紙 「国際会議の開催趣旨・目標」
- 別紙 「ILLF2010 開催概要」
- 別紙 ゲストスピーカー紹介文
- 別紙 北國新聞掲載記事
- 別紙 出席者名簿
- 別紙 次年度以降の活動概要

4、プログラム

開会挨拶(敬称略)

- ・ 主催者代表 協議会代表 高木慎一郎
- ・ 内閣官房 地域活性化統合事務局 参事官補佐 大谷 聡
- ・ 国土交通省 北陸信越運輸局 企画観光部 国際観光課長 佐々木紀彦

出席者紹介

議長選出

議事

国際会議

- ・ 開催趣旨、目標
- ・ 進捗状況、開催日程
- ・ ゲストスピーカー
- ・ プログラム
- ・ 招待客の選出
- ・ 現地調査事業

市場研究会

- ・ 取組内容、目標
- ・ 研究会内容、開催日程
- ・ 第4回研究会（リッツ・カールトン・セミナー）についての説明

次年度以降の展開について

質疑応答

閉会挨拶

以下、発言者名は組織名、苗字のみ。部署名、肩書き、敬称略。

開会挨拶

- ・ 協議会代表 高木慎一郎

本日はお忙しいところ、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。

協議会も活動を重ねるごとに、国際会議や調査事業等について佳境に近づいているという印象でございます。このように皆様にお集まりいただく機会はなかなかございませんので、気がつかれたことやご意見などを是非とも頂戴できますようお願い申し上げます。本日はよろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。

- ・ 内閣官房 地域活性化統合事務局 参事官補佐 大谷 聡

私は石川県には何度も訪れたことがございますが、素晴らしい観光資源がたくさんある地域だと思います。是非この資源を生かし、この活動を石川県全体に広げ、たくさんの観光客に来ていただける地域

となるよう持続していただきたいと思います。我々も一所懸命協力をさせていただきますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

・国土交通省 北陸信越運輸局 企画観光部 国際観光課長 佐々木紀彦

地域再生事業は今年で二年目でございます。本日、この協議会の前に梶浦さんの講演を聞かせていただきました。前回出席時も、第一回研究会を聞かせていただきました。昨年と比較してはいけないのかもしれませんが、内容が非常に充実してきたのではないかと感じております。皆様が熱心に活動され、それが反映されてきていることが、非常にありがたいと思っております。本日の協議会のテーマが、来年二月の国際会議が中心となりますが、昨年の取り組みを生かしつつ素晴らしい会議にしていいただければと思っております。北陸信越運輸局といたしましても出来るだけの協力をさせていただきます。よろしくお願い申し上げます。

出席者紹介

議長選出 高木代表を議長に選出

議事（敬称略）

国際会議

開催趣旨、目標、開催日程（別紙 「国際会議の開催趣旨・目標」参照）

取組内容について（事務局 岩田幸二）

- ・著名なゲストスピーカーを招聘し、世界の富裕層が求めているラグジュアリーライフスタイルに触れ、マーケットの動向を知る機会を持つ
- ・観光資源を、世界のラグジュアリーマーケットに向けて情報発信する
- ・観光事業者の意識改革と意識喚起を図り、受入体制の強化につなげる

目標

- ・石川県への海外富裕層誘客の増加につなげ、直接経済効果を生み出す
- ・海外富裕層の誘客数について、昨年度の実績数（延べ 3,000 人）を基準として、その人数を 1.2 倍の 3,600 人に増やす

開催日程（別紙 「ILLF2010 開催概要」参照）

- ・2010 年 2 月 27 日（土）13:00～17:00
- ・会場：石川県立音楽堂 邦楽ホール
- ・招待客数：500 名（最大 700 名）

ゲストスピーカーについて（高木代表）（別紙 「ゲストスピーカー紹介文」参照）

- ・アラン・デュカス氏

史上最年少でミシュランの三つ星を獲得し、世界で最も多くミシュランの星を持つ料理人であり

ます。現在、世界で 30 店舗を経営・運営に携わっております。デュカス氏は、大地が生み出す産物に対してのこだわりが非常に強い方ですので、この国際会議を機会に、石川の持つ地方の伝統野菜・伝統料理に直接触れていただき、販売促進はもちろんのこと、このような影響力の強い人物から、直接に石川の資源を世界で宣伝していただければと思っております。

・中川衛氏

2004 年、当時では最年少で人間国宝に認定された方で、かつ大学の現職の教授で人間国宝に認定されたことも史上初だったそうです。作品の創作活動をし、海外から招聘されることも多い方です。

10 月にニューヨークでお会いした際には、メトロポリタン美術館関連のお仕事だったそうですし、シカゴやボストンなどでも作品が所蔵されるということでもあります。日本に比べ、海外の美術館はスポンサーシップで運営されている場合が多く、中川先生のネットワークを活用してアートに興味を持つ海外のスポンサー等を石川に誘客できないか、かつ石川を世界に発信できないかと考えております。

・アレクサンダー・ゲルマン氏

ニューヨークが拠点となっておりますが、東京にもアトリエを持っております。最近の石川との接点ということでは、山中塗のチェス制作に携わった方でございます。ゲルマン氏は、石川の工芸に対して敬意を持っている方と聞いておりますので、中川先生と対談していただき、石川の財産というべき工芸を発信できればと思っております。

・ホルスト・シュルツィ氏

マゼラン・リゾート＆トラストの朽木社長が直接交渉して招聘した方です。リッツ・カールトンホテルの創業者として有名なホテリエでございます。あまり公の場に現れることは少ないので、このような国際会議に登場するというのは非常に珍しいと聞いております。石川の文化に触れていただき、伝説のホテリエとして石川をどのように感じていただけたのかを直接聞かせていただければと思っております。

予定プログラム（事務局 岩田幸二）

1. 講演：世界最高峰のホテリエが語る「サービスの真髄」
ホルスト・シュルツ
2. 対談：石川と世界の伝統工芸
中川衛、アレクサンダー・ゲルマン
3. 対談：食とラグジュアリーライフスタイル
アラン・デュカス、高木慎一郎

前回の国際会議では、出演されたゲストスピーカーの方々が実際に営んでいるビジネスモデルやコ

ンセプトについての話が中心だったと思います。今回は、石川の観光資源の可能性や石川で開催する意義などを発信したいと考え、そういった内容を盛り込んでいきたいと思っております。そして、国際会議の総括として、『ILLF 宣言』を発表したいと考えております。

国際会議開催についての意見（佐々木課長）

国際会議の中身について申し上げることはございません。ただし、昨年度の国際会議を拝見して気になったのですが、「広報」についてはあまり計画的に実施されなかったのではないのでしょうか。政府関係に相談してみる、地元の関係者にアピールしてみるなど、昨年度の結果をふまえて工夫されてみてはいかがでしょうか。特に国外向けの発信が弱かったと思いますので、その点の改善をお願いします。

また、数値目標の把握に関しても、“付け焼刃”的な発想で作成されたような気がします。その点に関しても十分工夫していただきたいと思っております。

・広報に関する補足説明（事務局 鈴木）

来週（12月7日）にプレスリリースを予定しております。新聞社ならびに地元テレビ局各社に発信させていただきます。また、協議会メンバーの人的ネットワークを活用し、コンシェルジュ関係・調理師関係などへ情報発信してまいります。海外向けに関しては、12月7日よりフランスのカンヌで開催される ILTM (International Luxury Travel Market) に協議会として参加いたします。また、ニューヨークのメディア関係者に対しての情報配信や海外のホテル関係へのメールでの情報発信を予定しております。

現地調査についての説明（事務局 鈴木）

1. ILTM (International Luxury Travel Market)での調査事業（カンヌ）

メディア関係者に対し、国際会議の広報活動・国際会議への誘客活動を行います。また、海外富裕層の旅行動向調査として、石川を訪れる可能性がある富裕層が、実際どのような旅行をしているのかを現地で調査し、そういった方々にどのように PR 活動を行えばよいのかということまでつなげていきたいと考えております。

2. ニューヨークでの調査事業

ニューヨーク在住の旅行会社・バイヤー・メディア関係者などに対し、国際会議への誘客活動、海外富裕層の日本文化に対する関心度・石川の認知度調査を行います。

3. 石川県内での調査事業

ILLF 宣言の趣旨である「おもてなし」の体制づくり・意識喚起のための実態調査を考えております。ただし、詳細に関しては確定しておりませんので、早急に取りまとめたいと思っております。

上記3点に関しては来年1月中に完了し、2月の国際会議に取り入れる予定でございます。

市場研究会について（事務局 岩田幸二）

取組内容

- ・観光事業に携わる有識者を招き、研究会を開催する（5回）
- ・海外富裕層誘客のための受入体制整備に向けた研究を行う

目標

- ・海外富裕層受入体制を整備し、誘客増加につなげる
- ・本事業に賛同し、研究会に参加する料亭・宿泊施設などの観光事業者数を倍増する（8社→16社）

協議会メンバー新規参加企業および団体：4社

（アイサンクス、あらや滔々庵、べにや無何有、柚餅子総本家中浦屋）

研究会新規参加企業および団体：1社

（見城亭）

研究会内容・開催日程〔岩田〕

第1回 2009年7月14日

講師：マゼラン・リゾーツ&トラスト(株) 代表取締役社長 朽木浩志様

タイトル：「ラグジュアリーマーケットを迎え入れるために」

第2回 2009年9月28日

講師：(財)日本交通公社 常務理事 小林英俊様

タイトル：「石川への富裕層受け入れのために」～新しい地域の価値づくり

第3回 2009年12月3日

講師：株式会社庵 代表取締役社長 梶浦秀樹様

タイトル：「美しい日本を次の世代に」

第4回：2010年1月27日

講師：ザ・リッツ・カールトン・ホテルカンパニー認定講師

タイトル：「リッツ・カールトン・セミナー」

第5回：2010年3月（日時未定）

内容は未定ですが、決定しだい皆様にご案内差し上げます。

第4回研究会（リッツ・カールトン・セミナー）についての説明（事務局 鈴木）

今回開催の趣旨といたしましては、リッツ・カールトンホテルは「ホスピタリティ・おもてなし」という点で世界の富裕層から支持されており、そのホスピタリティ哲学が仕組みとして末端の従業員まで浸透しております。実際にリッツ・カールトン大阪へ足を運び、セミナーを開催し現場を見て、自らが宿泊することにより、それらを学ぶことを目的としております。

次年度以降の展開について（別紙 「次年度以降の活動概要」参照）

質疑応答

質疑（多田屋 福原氏）

エクスカージョンの開催に関しては予定しているのか。

応答（高木代表）

いかんせん現時点でゲストのスケジュールが確定しておりませんので、それをふまえて検討しております。また、限られた予算での実行となりますので、事務局が中心となって進めております。

連絡事項（県庁 産業政策課 荒木課長）

経済産業省でもラグジュアリーマーケットに関する取り組みを行っております。経済産業省におきましては、この金沢は日本におけるラグジュアリーマーケットの日本の拠点の一つと認識しており、来年1月25日と26日に「日本ラグジュアリートラベルフォーラム」の開催を決定したそうです。このフォーラムは二部構成となっており、一つはラグジュアリーマーケット入門編のセミナーを開催し、もう一つは日本国内において富裕層向けのビジネスを行っている方とバイヤーとのマッチングを行うとのことです。

現時点で本協議会に具体的な要請があるわけではございませんが、我々が2月に開催する国際会議は「応用編」であり、1月のセミナーは「入門編」だということを私から先方へインプットしておりますので、詳細な内容などの情報が入りましたらお知らせいたします。

閉会挨拶（協議会代表 小田與之彦）

研究会に引き続き協議会にご参加いただきまして誠にありがとうございます。また、佐々木課長からは協議会活動に対しアドバイスを頂戴し、感謝申し上げます。

本日皆様に配布させていただきました北國新聞の記事（12月2日の朝刊）に私の名前が出ているものですから、昨日以来会う人から「これはおもしろそうですね。」という声掛けをいただきます。厳しい経済環境の中、価値のある本物を求めるということに関心を持つ方が多いのでしょうか。多くの方の注目を浴びているということを昨日今日の二日間で実感いたしました。この国際会議に関しても、皆様のご支援ご尽力をいただき、何とか形ができてまいりました。限られた時間ではありますが、今後も努力を重ね、形を整えていき、そして本事業に深く係わっていただいている皆様に大きなプラスとなり、可能性が広がっていくようにしていきたいと思っております。引き続き皆様のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。